

武蔵野市市民活動団体実態調査

結果報告書

(速報版)

令和3年7月

目次

I 調査の概要

II 調査の結果

1. 貴団体の概要について	4
2. 団体の活動状況や課題について	10
3. 情報・ICT等の活用について.....	26
4. 他団体との協働・連携状況について	28
5. 武蔵野プレイスについて	39
6. 市の施策や今後の取り組みについて	43

I 調査の概要

■調査の目的

市内を中心に活動する市民団体の概要、活動状況、活動を展開するにあたってのニーズ等を把握し、「第二期武蔵野市市民活動促進基本計画」策定へ向け市民活動を促進するための課題や方策を把握及び検討することを目的として、「武蔵野市市民活動団体実態調査」を実施した。

■調査期間

令和3年6月4日～6月23日(調査票締切日は6月16日)

■調査対象団体内訳

①	武蔵野プレイス、市民社会福祉協議会、NPO 法人登録団体	322
②	コミュニティ協議会	16
③	武蔵野市老人クラブ連合会	1
合計		339

■配付・回収方法及び件数

区分	回収数	配付数
郵送(上記①②のうち住所を把握している団体)	81	197
メール(上記①②のうちメールのみ把握している団体)	6	141
直接配布(上記③直接配布)		1
Google フォーム(郵送・メールにて他の回答手段としてご案内)	22	—
合計	109	339

回収率 32.2%

II 調査の結果

1. 貴団体の概要について

F1 貴団体の概要について、ご回答下さい。

回答者区分

「任意団体」が 52.3%で最も高く、次いで「NPO 法人」が 33.0%、「コミュニティ協議会」が 11.9%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	任意団体	57	52.3
2	NPO法人	36	33.0
3	コミュニティ協議会	13	11.9
4	老人クラブ	1	0.9
	不明・無回答	2	1.8
	N (%ベース)	109	100

(4)活動開始時期(数量)

「5年以上10年未満」、「15年以上20年未満」、「35年以上」が 16.5%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5年未満	5	4.6
2	5年以上10年未満	18	16.5
3	10年以上15年未満	9	8.3
4	15年以上20年未満	18	16.5
5	20年以上25年未満	15	13.8
6	25年以上30年未満	8	7.3
7	30年以上35年未満	9	8.3
8	35年以上	18	16.5
	不明・無回答	9	8.3
	N (%ベース)	109	100

(5)法人格取得時期(数量)

「15年以上20年未満」が 30.6%で最も高く、次いで「5年以上10年未満」が 27.8%、「10年以上15年未満」が 22.2%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5年未満	1	2.8
2	5年以上10年未満	10	27.8
3	10年以上15年未満	8	22.2
4	15年以上20年未満	11	30.6
5	20年以上25年未満	5	13.9
6	25年以上30年未満	0	0.0
7	30年以上35年未満	0	0.0
8	35年以上	0	0.0
	不明・無回答	1	2.8
	N (%ベース)	36	100

(6) 主な活動地域(○はいくつでも)

「武蔵野市内」が 81.7%で最も高く、次いで「隣接市町村」が 25.7%、「東京都内」が 21.1%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	武蔵野市内	89	81.7
2	隣接市町村	28	25.7
3	東京都内	23	21.1
4	日本国内全域	14	12.8
5	海外	7	6.4
	不明・無回答	3	2.8
	N (%ベース)	109	100

武蔵野市内活動エリア(○はいくつでも)

「境」が 30.3%で最も高く、次いで「境南町」が 28.1%、「西久保」が 22.5%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	桜堤	15	16.9
2	境	27	30.3
3	境南町	25	28.1
4	関前	15	16.9
5	八幡町	14	15.7
6	西久保	20	22.5
7	緑町	14	15.7
8	中町	17	19.1
9	御殿山	11	12.4
10	吉祥寺北町	19	21.3
11	吉祥寺本町	19	21.3
12	吉祥寺南町	15	16.9
13	吉祥寺東町	17	19.1
	不明・無回答	10	11.2
	N (%ベース)	89	100

(7) 活動の頻度(○は1つ)

「月1~3回程度」が 39.4%で最も高く、次いで「週1~7回程度」が 33.9%、「不定期に活動している」が 13.8%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	週1~7回程度	37	33.9
2	月1~3回程度	43	39.4
3	年数回程度	9	8.3
4	不定期に活動している	15	13.8
5	活動していない	0	0.0
	不明・無回答	5	4.6
	N (%ベース)	109	100

F2 貴団体の会員数をご回答下さい。

※ 大まかな数値で結構です。令和3年5月末日をめやすにお答え下さい。

【任意団体の方】

会員数(数値を記入)

「20人未満」が36.8%で最も高く、次いで「20人以上50人未満」が28.1%、「50人以上100人未満」が22.8%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20人未満	21	36.8
2	20人以上50人未満	16	28.1
3	50人以上100人未満	13	22.8
4	100人以上300人未満	5	8.8
5	300人以上500人未満	1	1.8
6	500人以上	0	0.0
	不明・無回答	1	1.8
	N (%ベース)	57	100

団体会員数(数値を記入)

「5団体未満」が19.3%で最も高く、次いで「15団体以上20団体未満」が3.5%、「5団体以上10団体未満」が1.8%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5団体未満	11	19.3
2	5団体以上10団体未満	1	1.8
3	10団体以上15団体未満	0	0.0
4	15団体以上20団体未満	2	3.5
5	20団体以上	1	1.8
	不明・無回答	42	73.7
	N (%ベース)	57	100

会員の女性比率(○は1つ)

「70~100%未満」が36.8%で最も高く、次いで「50~70%未満」が22.8%、「30~50%未満」が14%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0%	0	0.0
2	1~30%未満	6	10.5
3	30~50%未満	8	14.0
4	50~70%未満	13	22.8
5	70~100%未満	21	36.8
6	100%	8	14.0
	不明・無回答	1	1.8
	N (%ベース)	57	100

【NPO 法人の方】

正会員等、総会で議決権のある会員・団体会員数(数値を記入)

「20人未満」が50%で最も高く、次いで「20人以上50人未満」が22.2%、「50人以上100人未満」が11.1%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20人未満	18	50.0
2	20人以上50人未満	8	22.2
3	50人以上100人未満	4	11.1
4	100人以上300人未満	3	8.3
5	300人以上500人未満	0	0.0
6	500人以上	0	0.0
	不明・無回答	3	8.3
	N (%ベース)	36	100

「5団体未満」が38.9%で最も高く、次いで「20団体以上」が5.6%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5団体未満	14	38.9
2	5団体以上10団体未満	0	0.0
3	10団体以上15団体未満	0	0.0
4	15団体以上20団体未満	0	0.0
5	20団体以上	2	5.6
	不明・無回答	20	55.6
	N (%ベース)	36	100

会員の女性比率(○は1つ)

「50～70%未満」が27.8%で最も高く、次いで「30～50%未満」が22.2%、「1～30%未満」が19.4%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0%	0	0.0
2	1～30%未満	7	19.4
3	30～50%未満	8	22.2
4	50～70%未満	10	27.8
5	70～100%未満	7	19.4
6	100%	0	0.0
	不明・無回答	4	11.1
	N (%ベース)	36	100

総会で議決権のない会員・団体会員数(数値を記入)

「20人未満」が44.4%で最も高く、次いで「50人以上100人未満」が13.9%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20人未満	16	44.4
2	20人以上50人未満	3	8.3
3	50人以上100人未満	5	13.9
4	100人以上300人未満	3	8.3
5	300人以上500人未満	0	0.0
6	500人以上	1	2.8
	不明・無回答	8	22.2
	N (%ベース)	36	100

「5団体未満」が30.6%で最も高く、次いで「5団体以上10団体未満」、「20団体以上」が2.8%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	5団体未満	11	30.6
2	5団体以上10団体未満	1	2.8
3	10団体以上15団体未満	0	0.0
4	15団体以上20団体未満	0	0.0
5	20団体以上	1	2.8
	不明・無回答	23	63.9
	N (%ベース)	36	100

会員の女性比率(○は1つ)

「0%」が22.2%で最も高く、次いで「50~70%未満」が16.7%、「30~50%未満」が11.1%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0%	8	22.2
2	1~30%未満	3	8.3
3	30~50%未満	4	11.1
4	50~70%未満	6	16.7
5	70~100%未満	3	8.3
6	100%	0	0.0
	不明・無回答	12	33.3
	N (%ベース)	36	100

F3 貴団体の活動を担っているのは主にどのような年齢層の人達ですか。(○は1つ)

※ 会員であるかどうかに関わらず、活動を実質的に支えている主な年齢層をご回答下さい。大まかな数値で結構です。令和3年5月末日をめやすにお答え下さい。

「60～70歳代が中心」が52.3%で最も高く、次いで「ばらついている」が19.3%、「40～50歳代が中心」が11.9%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20歳未満が中心	1	0.9
2	20～30歳代が中心	3	2.8
3	40～50歳代が中心	13	11.9
4	60～70歳代が中心	57	52.3
5	ばらついている	21	19.3
6	その他	10	9.2
	不明・無回答	4	3.7
	N (%ベース)	109	100

F4 貴団体の主な活動分野について、ご回答ください。(○はいくつでも)

「社会教育の推進」が42.2%で最も高く、次いで「子どもの健全育成」が37.6%、「保健、医療又は福祉の増進」が36.7%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	保健、医療又は福祉の増進	40	36.7
2	社会教育の推進	46	42.2
3	まちづくりの推進	37	33.9
4	観光の振興	9	8.3
5	農山漁村又は中山間地域の振興	3	2.8
6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	30	27.5
7	環境の保全	25	22.9
8	災害救援活動	21	19.3
9	地域安全活動	23	21.1
10	人権の擁護又は平和の推進	13	11.9
11	国際協力	7	6.4
12	男女共同参画社会の形成の促進	8	7.3
13	子どもの健全育成	41	37.6
14	情報化社会の発展	7	6.4
15	科学技術の振興	3	2.8
16	経済活動の活性化	6	5.5
17	職業能力の開発・雇用機会の拡充	5	4.6
18	消費者の保護	6	5.5
19	上記の団体の支援	7	6.4
	不明・無回答	6	5.5
	N (%ベース)	109	100

【情報提供のお願い】

新たに活動開始を希望する市民からの相談など、市や武蔵野プレイスにおける相談・コーディネート事業において、ここまでご回答いただいた内容(F1～F4)を相談者に提供してもよろしいでしょうか。同意いただけない場合は、チェックを入れてください。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	チェックなし	104	95.4
2	チェックあり	4	3.7
	不明・無回答	1	0.9
	N (%ベース)	109	100

2. 団体の活動状況や課題について

問1 貴団体が団体を立ち上げる際に課題だったことは何でしたか。(特に課題だったこと3つまで○)

「活動参加者の確保」が53.2%で最も高く、次いで「活動拠点となる場の確保」が45.9%、「活動資金の確保」が39.4%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	活動拠点となる場の確保	50	45.9
2	活動に必要な設備や機器の確保・充実	12	11.0
3	活動内容や活動方針の決定	21	19.3
4	活動資金の確保	43	39.4
5	活動参加者の確保	58	53.2
6	周囲の理解や協力	30	27.5
7	他の団体との連携・ネットワーク	23	21.1
8	その他	6	5.5
	不明・無回答	7	6.4
	N (%ベース)	109	100

問2 令和元(2019)年度【コロナ前】の主な活動実績について、3つまでお答え下さい。

※集計中

問3 令和元(2019)年度【コロナ前】の活動収支について、うかがいます。

①年間予算(○は1つ)

「100万円未満」が58.7%で最も高く、次いで「500万～1,000万円未満」が18.3%、「100万～200万円未満」が7.3%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	100万円未満	64	58.7
2	100万～200万円未満	8	7.3
3	200万～500万円未満	3	2.8
4	500万～1,000万円未満	20	18.3
5	1,000万～3,000万円未満	6	5.5
6	3,000万～5,000万円未満	2	1.8
7	5,000万～7,000万円未満	0	0.0
8	7,000万～1億円未満	1	0.9
9	1億円以上	2	1.8
	不明・無回答	3	2.8
	N (%ベース)	109	100

②年間の収入で、全体に占める割合が最も大きかったもの(○は1つ)

「会費」が25.7%で最も高く、次いで「行政からの補助金」が23.9%、「行政からの業務委託費」が14.7%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	会費	28	25.7
2	事業収入	15	13.8
3	寄付金	6	5.5
4	民間の助成金	8	7.3
5	行政からの補助金	26	23.9
6	行政からの業務委託費	16	14.7
7	会費以外の個人負担	5	4.6
8	借入金	1	0.9
9	その他	1	0.9
	不明・無回答	3	2.8
	N (%ベース)	109	100

③年間の事業費を除いた支出で、全体に占める割合が最も大きかったもの(○は1つ)

「事務費等の活動経費(通信費、印刷費)」が45.9%で最も高く、次いで「スタッフの人件費」が27.5%、「その他」が14.7%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	事務費等の活動経費(通信費、印刷費)	50	45.9
2	スタッフの人件費	30	27.5
3	事務所維持費(賃借料、光熱費)	6	5.5
4	その他	16	14.7
	不明・無回答	7	6.4
	N (%ベース)	109	100

問4 【コロナ前】貴団体は、どのような場所や施設を使って活動していますか。(○はいくつでも)

「各地域のコミュニティセンター」が50.5%で最も高く、次いで「その他」が33.0%、「武蔵野プレイス」が31.2%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	地域の小学校	7	6.4
2	地域の中学校	2	1.8
3	各地域のコミュニティセンター	55	50.5
4	市民会館	15	13.8
5	武蔵野プレイス	34	31.2
6	武蔵野市立の図書館(中央・吉祥寺)	1	0.9
7	市民文化会館	5	4.6
8	武蔵野公会堂	5	4.6
9	武蔵野スイングホール	9	8.3
10	ボランティアセンター武蔵野	3	2.8
11	テンミリオンハウス	3	2.8
12	市内の公園	14	12.8
13	その他の市の施設	19	17.4
14	市以外の公共施設	16	14.7
15	その他	36	33.0
	不明・無回答	6	5.5
	N (%ベース)	109	100

問5 【コロナ前】貴団体が活動を継続する上での課題は何だと思えますか。新型コロナウイルス感染症の影響前から課題だった点をお答えください。(特に課題と感ずること3つまで○)

「スタッフの増強」が 45.0%で最も高く、次いで「活動の周知・広報の徹底」が 35.8%、「活動資金の確保・充実」が 33.9%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	活動拠点となる場の確保	35	32.1
2	活動に必要な設備や機器の確保・充実	8	7.3
3	事業規模やエリアの拡大	8	7.3
4	活動資金の確保・充実	37	33.9
5	活動コストの削減	1	0.9
6	業務や活動の効率化	9	8.3
7	スタッフの増強	49	45.0
8	スタッフの専門性向上	5	4.6
9	組織マネジメント能力の向上	9	8.3
10	活動の周知・広報の徹底	39	35.8
11	活動固定化の解消	8	7.3
12	世代間交流の促進	23	21.1
13	団体同士の連携・ネットワークの拡大	12	11.0
14	外部の専門家(機関)とのネットワークの拡大	5	4.6
15	行政との協働・連携による事業の実施	17	15.6
16	組織内での理念の共有・浸透	8	7.3
17	その他	12	11.0
	不明・無回答	5	4.6
	N (%ベース)	109	100

問6 問5で回答頂いた課題に対し、解決のために団体としてなにか取り組んでいますか。また、解決のために行政に対して協力を求めたい事項があればご記載下さい。(3つまで記入)

※いただいたご意見は明らかな誤字等を除き、そのまま掲載しています。

課題:スタッフの増強(28)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
住民に対しての声かけ、お誘いでも中心メンバーにはならない(行事には参加)。	-
ポスター、コミセンだよりでの広報。受付での声かけ。	-
社会福祉協議会、ボランティアセンター、武蔵野プレイス市民活動支援機構等への周知及び活動参加。	-
スタッフ募集をHPに出す。施設前に掲示する。	-
高齢化で役員をやってくれる人が少ない。展示会の時など機会がある時、宣伝しているものの会員が増えない。	-
ボランティアセンターなどのスタッフ募集などのイベント参加するが…人材確保には至らない。	-
窓口担当の若返り。	資金の充実(手当)。
コミセン運営委員に友人・知人の紹介依頼。コミセン利用者に個別に勧誘。広報紙による募集。	コミセン運営スタッフとして、行政(市)から嘱託職員の派遣・応援。
声掛けをしたり、運営委員募集中と表示して募っている。	コミセンの活動を詳しく紹介して欲しい。
運営委員の募集をしている(コミセンだよりなどで)。	-

運営委員・協力員の募集。	広報で募集記事掲載。コミセンの役割や地域ボランティアの活動であることのアピール。
養成講座を行う。	共催や後援をして欲しい。
若者の参加を求めているが困難。	-
地域のつながりを大切にしていける。情報をしっかり伝達し、開かれたコミセンを目指す。声かけ。	-
担い手を確保するため声かけを行っている。	-
新入会員の確保。	広報支援。
宿泊の仕事なので、なかなか難しいが、日頃から知人に声掛けをしている。	-
新しい役員の方の要請。	-
団体認知のための日常活動。	団体紹介などのPR。
若い世代に声をかけている。	-
若手の委員の確保に向け、活動の見える化に努力。	-
会員の増加。	-
新会員の募集。	-
スタッフ間で求人情報を共有し、人材を探したり、大学生に絞って求人するなど応募率を上げている。	-
運営委員が不足。	どの様にしたら増員することができるか。
良い人材の確保は縁も関わってくるのでとても難しいが、様々な方がボランティアとして関わられるよう門戸を開き、利用者になるなど、様々な形で長期的に関われる環境をつくっている。	人材募集などの際にお知らせや広報など、口コミレベルでもご協力下さると助かります。
スタッフ(講師)には継続的に引き受けて貰うためにコミュニケーションを密に取り、会費と団体助成金の大半を講師代に充てている。	活動運営を続けて行くには資金面、運営者の人材不足ということが難しい課題なので、行政に対して協力を求めたいところです。
レギュラーではなく、時間の空いた時、興味のあることの単発でコミュニティに関わってもらい、雰囲気と人間関係を作れるものを探し、試す。助っ人バンクは不発。かつては神田川どじょうつかみとり…など親子で関わることでの子供の育成が出来たが…。	社会教育や地域コミュニティ・行政施策などに興味を持っている大学生を大学ゼミと連携してインターンシップで各コミセンに受け入れる。窓口業務やイベント補佐等。最初は大混乱でしょうが…。若い世代を引き入れるきっかけであり、高齢化したコミュニティメンバーの若者慣れをはかる。

課題:活動資金の確保・充実(22)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
会員や社会に対して寄付の呼びかけ。	家賃等に対する補助。
補助金・助成金の応募。賛助会員の拡大。	-
民間企業との連携(賛助・助成・寄付など)。	-
寄付支援者の拡大。	当会の活動を紹介していただく。
コロナにスタッフや生徒がかからないために休室にせざるを得なかった。	-

活動資金、本部への年会費、賛助会員を増やした。	安全協会、防犯協会とも協力して活動してきた。市に活動費を助成してもらおう事が出来た。
ボランティア育成。	ボランティア告知。
市主催のイベントに参加し、バザーなどを行って資金を調達(現在は中止の状況)。	バスの配車、セミナー講師料の支援以外にも対応を願いたい。
サポート会員を増やすことと、参加者を各回定員まで集めること。寄付プラットフォームの利用も考慮中。	教育という分野において、かかる費用の全てを参加者に負わせることが不可能であることは公教育を見ても明らかであるように、学校法人を持っていないオルタナティブ教育を担う団体に対して、公教育に準ずる補助をしてほしい。
補助金・民間助成金。	補助金申請事業内での日当を認めてほしい。オンラインの為の機器を揃えましたが、補助金枠で認められないものが沢山あります。必要なものは機器購入も認めてほしい。
会員の増強。活動資金アップ。	講師、要約筆記者、謝礼金アップ。
会員の増加。	-
賛助会員を増やすこと。寄付を募ること。	-
国内の助成団体は現場のない当会のような活動を支援することが少ないので、海外のファンドに申請した。	成果が分かりにくい(植林のような成果が見えやすい活動ではない)。活動が理解してもらえよう、セミナーの講師などと呼んで欲しい。
課題解決のための事業と、運営資金を得るための事業と分け、収益事業にも力を入れるように整備を始めた。	本の選書や購入、装備用品の購入など、代理店として各施設等でも利用して頂けると助かります。また、子ども達を支援したい個人、団体、企業などにご案内頂けるなどあるととても助かります。また、助成金など利用できるものの一覧などがあると、計画が立てやすく助かります。
利用者増に向け、体験利用や実習、見学の積極的な受け入れ。	-
週2日の活動をしていたが、週1回とした。	-
会費はなし。自己負担の持ち出しをなくすため助成金、補助金、寄付(クラファン)を活用し、プロジェクト方式で事業に1回1回取り組む。	法人化していない団体に対しても、補助金の支援や業務委託などの機会を作って欲しい。
コロナ禍により、会員減。PRに努めているが難しい。	助成金(会費のみの運営なので)の支給(一部でも可)考えられないか。
武蔵野市民社会福祉協議会の団体助成金が下りるように申請書や会計報告書作成には時間や労力をかけている。	活動運営を続けて行くには資金面、運営者の人材不足ということが難しい課題なので、行政に対して協力を求めたいところです。
会員増強のための認知向上。	助成金の立替負担を軽減するための制度見直し。
プリント代などなくしてデジタル化で推進。	助成金を頂きたい。

課題:活動拠点となる場の確保(18)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
拠点の確保については行政に要望済み。	-
-	会議室使用料の低減。
活動場所は茶室に限られるので、多くの人に伝統文化の体験をと近年、立礼席を設けている。	多くの茶道具があり、保管に苦慮しています。松露庵の茶道具と文化会館の茶道具は相互間利用を認めて下さい。
機会あるごとに、コミセン、市の関係施設等に、専用の一室を提供してほしいと訴えている。	中町という場所柄、民間の場所を借りると高額になる。その時には市より援助をお願いしたい。

現状は環境の良い所で、場所的には満足しているが、個室をもっと充実したいので、物件探しの情報収集をしている。	市の土地を格安で貸して頂けたらと思う。
コミセン等、早めの取得。	-
講義場所の確保(苦勞している)。	2 か月前に場所を確保したいが(会員への通知のため)、便宜を図ってもらえないか。
活動場所の管理者とのコミュニケーションを密に取るように心がけている。	活動運営を続けて行くには資金面、運営者の人材不足ということが難しい課題なので、行政に対して協力を求めたいところです。
なるべく民間の設備貸出の料金の低いところ。無料のところを探している。	民間の会社で無料提供が見込めるところを探す。
現状で可としている。	-
住宅などの個人所有のスペースで作業。	無償で使用できる公共の作業スペースの提供。
市内の空家探し。	事務所兼利用者の居場所を確保できる空家。
事務所(連絡先)が代表自宅でもあるが、やむを得ないことと考えている。	-
週1回2時間借りられる場所をひたすら個別訪問して探した。	使えそうな拠点の情報が欲しかった。
役員(主に会長)の個人負担が多く、自宅を活用している。(自宅が事務所がわり)。	活動拠点の整備。
内閣府、消防署、国交省との交流イベント参加。	-
継続して使用の許可が得られるよう依頼。	現在と異なるタイプの会場の提供。
場所の情報を頂き(スタッフ知人より)使用してみ、事業として使って行けるかどうか試している。	-

課題:活動の周知・広報の徹底(17)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
武蔵野プレイスへの登録。武蔵野市消費生活センター「くらしフェスタ」参加。	-
チラシ、広報紙の配布。フェイスブック、ツイッターによる発信。	教育機関において、チラシや広報紙が配布できるようご協力をお願いしたい。
広報紙の配布。活動内容などの説明会。交流イベントの実施。	地域活動団体の紹介(活動内容を含め)。市報などへの専用ページの設置。
上記組織及び各地区包括支援センターへの活動月報提出。	-
メール、インターネット、ライン、ズーム活動の強化。	市報等への掲載。
サイトの改善。	市ホームページでの紹介。
メールDM(メールニュース)だけでなく facebook やインスタなどの SNS を利用して広報活動を行っている。	分からない。
コミセンだよりを年5回発行、コミセン掲示板4ヶ所の設置。コミセン活動事業を地域住民にポスター掲示等で告知。	コミセン掲示板の増設(エリア内公園の活用)。市報むさしのに告知枠の増設。
ホームページで広報している。	市のホームページにもっと各コミセンが分かりやすくして欲しい。
通信の発行・メディアへの行事掲載依頼等。	「市民伝言板」への掲載時に特定の政党の名前があったため講演会名の変更を求められた。「政治活動は不掲載」の見直しを求めたい。

ウェブサイト、SNS 発信の充実。	成果が分かりにくい(植林のような成果が見えやすい活動ではない)。活動が理解してもらえよう、セミナーの講師などと呼んで欲しい。
広報紙の発行とともにツイッターの活用を検討中。	-
年に 4 回地域に広報紙を配布している。	-
PR を郵送して行く。軽費大。	-
HP、FB など SNS の積極活用。	-
9 月/3 月の「東京都自殺対策補助事業」に参加して 5 年になり、都の広報で助けられています。	-
HP や SNS の他、公式の LINE アカウントをとってより興味がある方へのタイムリーな情報発信を始めた。	余裕がないスケジュールでの広報にご協力頂けると助かります(1 か月前までなどに詳細が決まらないことが多いので)。その他利用できる広報をまとめた案内などがあると助かります。

課題:世代間交流の促進(10)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
ボランティア活動に対する心構えが必要。	-
小学生とのコミュニケーション。施設見学、職業体験等。	小・中学校とのつながりをつくる。
会員募集のお知らせなど。	広報の機会があまりない。
コロナ前は 2 か月に 1 度、コミュニティ食堂を開催していました。	情報交換、課題共有ができる機会を作って貰えると嬉しいです。
利用団体・小中学生等の保護者への加入のすすめ。	-
講演、シンポジウム。	市報、HP での広報協力。
もっと交流を増やしてもいいかと思うこともあるが、各自マイペースで、無理に取り組まなくてもということもある。	-
広い範囲への参加呼びかけ。他団体とのコラボの模索。	他地域の成功事例の紹介。各団体との交流会の主催。
役員会での話し合い。	地域ボランティア精神を育成する。受け入れ窓口を団体にまかせるのではなく、入りやすい窓口を作って欲しい。
子どもを仲立ちとした子育て世代のコミュニティへの参加、コミセン利用のきっかけに「パパひろば」を隔月で開催していた。中高年の男性スタッフをそろえて、土曜日午前中、子どもとパパに参加してもらい子育て期にあるパパ同士の交流、ネットワーク化を目指した。LINE グループもできていざ自主活動となった時にコロナで中断。	-

課題:活動固定化の解消(7)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
催事の企画など。	広報の機会があまりない。
PTA・コミセン・青少協など地域の他団体と協力する関係づくりに努力。	-
-	新規活動施設の紹介等(傾聴ボランティアは個人では受け入れるが、団体は拒否等)。

参加の呼びかけ、人づてでの勧誘など、メンバーの拡充。関係先との連携による活動範囲拡大。	活動のサポート。他地域の活動事例の紹介、実施のサポート。
様々な意見に耳を傾ける。意見交換の場を多くもち、意見を誰もが言いやすい環境づくりを目指す。	-
若人への働きかけのためのセミナー、シンポの促進。	他団体の協力。
コミセンが場所と一定の予算を提供して新企画事業を育てていけないか試行錯誤。団体との共催事業は、世代別特性を考慮して行うほうが効果は高いが、主催事業以外に「映画好きの面々を集めて、作品選択から当日運営まで任せての南町 Cinemaを計画したがコロナでとん挫。「気軽に音楽を楽しむ・ちょっとお酒も」といった地元ライブハウスをやろうと「歩いていける音楽会」を二回とりくんで中断。今回はこんなものを…という希望があれば、運営スタッフを募っていくつもり。	-

課題：団体同士の連携・ネットワークの拡大(6)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
NHK 大河ドラマに取り上げてもらう運動。	-
講演、シンポジウム。	市報、HP での広報協力。
コロナ禍のため開催が難しいが、利用者懇談会を開催して情報交換・交流会を行いたい。	-
余裕なし。	団体提案。
地域諸団体との懇談会開催(年 2 回)。地域福祉団体との連携事業の促進。	地域諸団体との連携斡旋、人材の融通・参考施策の促進窓口の設置、連携予算の確保。
情報の共有。声かけ。	-

課題：事業規模やエリアの拡大(5)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
利用者増に向け、体験利用や実習、見学の積極的な受け入れ。	-
行政機関への活動の案内など。	-
団体広報強化。	広報支援。
同じ活動に従事している民間団体への周知に協力。	市報等への掲載。
新規会員の募集。	-

課題：活動に必要な設備や機器の確保・充実(4)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
会員同士の議論。	-
茶会の季節により、道具が変わります。各自持参致しますが、重労働、経費負担が大きい。	市の催事の時は市の保管茶道具は借り出しをお願いしたい。
新しい会員が増えないので、広報紙などで活動の紹介を知らせている。	若い(高齢者ではない)世代にボランティア活動の有用を知らしめてほしい。

メンバーの持っているものの持ち寄り。	zoom のアカウント等の付与。
--------------------	------------------

課題:行政との協働・連携による事業の実施(4)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
育児世代の交流と自己啓発(育自)の共有と共感を目的とする。	活動の場や広報、周知。
大学や小中学校の設備を借りて、安価または無料で借りて、共同で共通なテーマ行事を行う。	大学や中学などと学習的なカリキュラムで協働で学習などが中心のイベントを開く。科学の物づくりなど実習しながら。その仲介を行政にお願いしたい。
要望を提出。	要約筆記者派遣回数アップ。
市への協議申し入れ。	「平和月間」という市民団体が集合して企画を毎年行っているが、この企画についての市との連携について何ができるか協議したい。

課題:業務や活動の効率化(3)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
組織作りを行った。	組織図の作り方や業務の分掌をどの様にすべきかアドバイスを求めたい。
協力者の募集。	-
個人のスキルを活かした働き方をし、足りない人材やスキルは他団体や個人に依頼し、プロジェクトチームで活動する。	デザインや IT 関係のスキル強化するためプロボノ申請や講座、派遣、マッチングなど支援して欲しい。

課題:外部の専門家(機関)とのネットワークの拡大(2)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
活動プログラムに協力して頂ける専門家を個人のネットワークで探した。	市の活動団体や専門家の一覧や連絡方法を知らせて欲しい。
講座などを企画してつながりをつくる。	間をつなぐ。紹介、提案など。

課題:スタッフの専門性向上(1)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
勉強会	会場確保に力を貸して欲しい。

課題:組織マネジメント能力の向上(2)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
武蔵野大学「介護マネジメント講座受講」。	-
職務分掌を整備し、職員面談を実施。	-

課題:組織内での理念の共有・浸透(2)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
随時、意思疎通を図っている。	-
役員会での話し合い。	地域ボランティア精神を育成する。受け入れ窓口を団体にまかせるのではなく、入りやすい窓口を作って欲しい。

課題:その他(7)

解決のために団体として取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
NPO 本部の HP に活動詳細を記載している。	-
スタッフ 1 人 1 人の家庭の事情を最優先として取り組む。活動時間や活動内容もフレックスにし、パフォーマンス力をあげること。	ジェンダー平等の意識改革を社会でもっと実践して欲しい(男女共同参画社会)。
日程調整をきめ細かくする。	-
会員増強(委員会を立ち上げ、新規事業の実施計画や広報計画等)に取り組んでいる。	広報活動。
改修工事が終わるので解決する。	-
役員会での話し合い。	地域ボランティア精神を育成する。受け入れ窓口を団体にまかせるのではなく、入りやすい窓口を作って欲しい。
市民(先生)の弟子が市内在住とは限らないので賛助会員として参加。	武蔵野市と隣接している市。例えば三鷹市、西東京、小金井、杉並等も考えて頂きたい。

「コロナ以降」として、令和2(2020)年度の活動状況や課題についてうかがいます。

問7 **令和2(2020)年度【コロナ以降】の活動収支について、うかがいます。**

①年間予算(○は1つ)

「100万円未満」が62.4%で最も高く、次いで「500万～1,000万円未満」が11.0%、「200万～500万円未満」が8.3%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	100万円未満	68	62.4
2	100万～200万円未満	6	5.5
3	200万～500万円未満	9	8.3
4	500万～1,000万円未満	12	11.0
5	1,000万～3,000万円未満	5	4.6
6	3,000万～5,000万円未満	2	1.8
7	5,000万～7,000万円未満	0	0.0
8	7,000万～1億円未満	1	0.9
9	1億円以上	2	1.8
	不明・無回答	4	3.7
	N (%ベース)	109	100

②年間の収入で、全体に占める割合が最も大きかったもの(○は1つ)

「会費」が25.7%で最も高く、次いで「行政からの業務委託費」が21.1%、「行政からの補助金」が15.6%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	会費	28	25.7
2	事業収入	14	12.8
3	寄付金	7	6.4
4	民間の助成金	5	4.6
5	行政からの補助金	17	15.6
6	行政からの業務委託費	23	21.1
7	会費以外の個人負担	6	5.5
8	借入金	0	0.0
9	その他	4	3.7
	不明・無回答	5	4.6
	N (%ベース)	109	100

③年間の事業費を除いた支出で、全体に占める割合が最も大きかったもの(○は1つ)

「事務費等の活動経費(通信費、印刷費)」が45.0%で最も高く、次いで「スタッフの人件費」が25.7%、「その他」が15.6%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	事務費等の活動経費(通信費、印刷費)	49	45.0
2	スタッフの人件費	28	25.7
3	事務所維持費(賃借料、光熱費)	9	8.3
4	その他	17	15.6
	不明・無回答	6	5.5
	N (%ベース)	109	100

問8 活動する上で、新型コロナウイルスの影響は出ていますか。(〇はいくつでも)

「イベントや行事が中止になった」が 72.5%で最も高く、次いで「活動を休止している」が 38.5%、「メンバー同士の話し合いの機会が持てない」が 33.9%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	活動を休止している	42	38.5
2	イベントや行事が中止になった	79	72.5
3	活動場所がない	20	18.3
4	メンバー同士の話し合いの機会が持てない	37	33.9
5	会員の状況がわからない	4	3.7
6	マスクや消毒液などの備品が不足している	5	4.6
7	活動再開のめどが立たない	20	18.3
8	収入が減った	18	16.5
9	その他	19	17.4
10	特に影響は出ていない	7	6.4
	不明・無回答	3	2.8
	N (%ベース)	109	100

問9 問8で「1」から「9」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

新型コロナウイルスによる影響を受けつつも、新たに取り組んでいることがあれば教えてください。また、行政に対して協力を求めたい事項があればご記載下さい。(3つまで記入)

※いただいたご意見は明らかな誤字等を除き、そのまま掲載しています。

受けた影響: イベントや行事が中止になった(38)

団体として新たに取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
終活互助の研究実践。	講演、シンポジウム。広報へのご協力。
防災、減災の研究実践。	-
座学イベントのオンライン開催をすることがある。	オンライン開催を希望しているわけではなく、会場での開催が理想。会場定員の半分というのは厳しい。2/3 くらい入れても良いと思う。他の対策を行っているならば。
オンラインを使用してイベント etc が出来ないか。	必要な機材にかかる費用の負担をお願いしたい。
代替行事の検討。	-
特にありません。コロナ禍の終息を願うばかりです。	早期の全希望者へのワクチン接種。
オンライン、人数を減らすなどの工夫。	-
代替案について検討中。	-
文化会館をつかって美術展をしているが、2021年12月も会場がとれないでいる。	長年、文化会館でやっている。優先して会場がとれると良い。
8月には再開。	広報支援。
コロナの拡散状況などに対応。中止…緊急事態宣言、自粛。開催…ガイドラインに沿った感染対策を講じた。	-
zoom に対応。	zoom 等通信費への助成ないし補助。

さくら祭・文化祭の茶会。松露の茶の湯・はじめて体験・こども教室等中止延期でした。	教育委員会・芸文協・文化事業団様とは密に打ち合わせをして今秋に開催準備を初めています。お世話になっております。
次の行事にむけて会員の意欲を持続させる。	-
他団体との連携でオンラインによるイベントを秋から毎月開催。	socialwork コミュニティに対して支援をお願いしたい。
イベントのオンライン化。	スペースの提供。
講演会を zoom にて開催した。	zoom 等、不慣れな職員が多い為、準備のノウハウを教えてもらえる。
高齢者事業のクリスマス会ができず、例年の参加者にクリスマスカードを送る。	-
全体会議が出来ないので 4~5 人の少人数に限定して打ち合わせ。	-
新型コロナウイルス感染予防対策を講じながらできる事業は行っている。	ウィルス感染防止対策のコミセン共通施策の策定、利用者に対する行政からの具体的指導。
オンライン=ZOOM で音楽療法を行うようにした。	公共施設(コミセン)オンラインで活動できる環境を早急に整えてもらいたい。設備機器に費用が相当に掛かります。補助があるとよいと思いました。
Web を利用した講座。	-
再開に向けて諦めずに準備する。	-
名庭園の見学会(造園家の指導のもと)。	-
緊急事態宣言中もコミセンを 20 時まで開館している。	早めの連絡を。
コロナ対策しながらの事業の取組。	リモートを取り入れたいが、年代差による意識の差があり厳しい。取り組み易い方法を提案して下さい。
道路標識の整備(地域内の道に他地域の名前をつけたもの)。	-
オンライン(YouTube)による情報発信。	テクニカルサポート
チャリティーコンサートをオンラインにて実施。	-
zoom 等での開催に変更した。	市施設(コミセン、公会堂他)に Wi-Fi 環境を整えてもらいたい。
昨年、会の周年行事が中止になり記念誌を発行することで過去をふり返り未来への展望につなげた。	-
zoom 等で集まり行う。	市民活動に関しては、コロナ禍においても活動しやすくして欲しい。
広報紙だけ発行した。	-
高齢者の食事会が開けないため、お弁当の配食を行い、安否の確認。お散歩でリフレッシュをして頂いた。	-
オンラインに活動を移した。	コロナ後、対面とオンラインの両方でセミナー等ができるよう、セミナールームの Wi-Fi や機器を増強して欲しい。
やれることを見出し、縮小し工夫をしながら、出来るイベントをやっている。	-
zoom を導入し、外出禁止などの状況になっても繋がれる環境を確保した(実際に定期的にワークショップなど開いている)。	直前などでも告知にご協力頂けると助かります。
可能な限り、活動環境を確保しようと努力している。施設運営上は運営スタッフへの意識付けと利用サイドの協力姿勢を根気よく徹底する以外なし。	-

正確な情報をいかに早く出せるか。うわさ話になる前に。SNS 等には対応できないコミュニティ構成員が多いので、現時点ではニュースの全戸配布とホームページ更新のみ	
---	--

受けた影響:活動を休止している(14)

団体として新たに取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
会は休止しているが、月1回ははがき等で通信を出している。	-
メールによる会員同士の近況報告→現在はそれも中止。	-
主な活動場所であるコミセンが休館の為、活動が休止となった。その為、話し合いの場を、近隣のファミレス等で集まったが、会議のみコミセンを使用させて欲しかった(1回目の緊急事態宣言)。現在、会議のみ開催しているが、活動は休止している。	-
メンバーとはSNSで近況報告しながら、家庭のことでコロナ禍苦しい思いを共有しあって関係性を維持。	対話の機会がどんどん減っている。コミュニティにおける雑談の場の重要性をこれからどう活かすか教えてほしい。
活動場が駅周辺だったり、密になる為中止。小学校の登下校の見守りを各地区でしている。	-
昨年3~5月まで休館。その後も利用内容の縮小により、設備等の不備が出ている。	処理依頼に速やかに(修理)お願いします。
常に再開を見ているが、見送り。	-
リモートやオンラインを使って行事を行うための設備費がほしいこと。	たとえばオンラインやリモートを行うソフトの代金などを補助してほしい。
コロナ禍による高齢者フレイル防止策:近隣の公園、緑道など散策会。	コロナ禍の外出規制、公園閉鎖は高齢者フレイル促進策だ。直ちに解放の工夫を(都にも要請して欲しい。昭和記念公園、神代植物公園、郊外の公園)。
緑化、防災、地域環境(ルックバルセロナ)。	-
臨時に都営アパートの集会所を借り、3月に再開したが、古く狭いので色々な工夫をしている。	都への申請など、もう少し援助が欲しい。
オンラインで現地指導をしている。	-
zoom等で集まり行う。	市民活動に関しては、コロナ禍においても活動しやすくして欲しい。
なんとか助成金をとり、文庫を再開した。また、他の事業についても連携先などに働きかけ、様々な提案をしてコロナ禍での新たな形作り展開している。	状況がいろいろ変わるので、その都度情報を共有して頂けると助かります。具体的には、コロナ禍での市内施設の対応方針や、新たな利用できる場所や方法などがタイムリーに分かると助かります。

受けた影響:メンバー同士の話し合いの機会が持てない(11)

団体として新たに取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
オンラインを利用して、一部解消しているが、集合してやりたいという希望は強い。	-
オンライン	会議が出来る広い場所を提供してほしい。
対面での集会、イベントが中止になったが、オンラインで対応している。	-
Web会議	-

「近況報告」など郵送で集めてまとめ、課題を拾い出す。	-
書面会議の開催(住民総会・運営委員会)。	-
オンラインによる(zoom)会議。	-
zoom 等での開催に変更した。	-
zoom 等で集まり行う。	市民活動に関しては、コロナ禍においても活動しやすくして欲しい。
毎月の運営委員会を書面開催にした。	-
zoom の活用。会議は密にならないようにオンラインを活用して少人数で行っている。	-

受けた影響:活動場所がない(7)

団体として新たに取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
コロナの終息を願うばかりです。	-
主に外でのイベントを中止し、オンラインのみで活動。	公共施設の wifi 化を急ピッチですすめてほしい。
コロナ前からの課題。	2 か月前に予約が出来る会場(会員への通知が出来ない)。
話し合いに関しては少人数でも回数を重ねて続けている。	-
施設使用休止中は公共施設を利用。	公共施設への利用促進。
臨時に都営アパートの集会所を借り、3 月に再開したが、古く狭いので色々な工夫をしている。	都への申請など、もう少し援助が欲しい。
zoom 等での開催に変更した。	プレイスは Wi-Fi があるものの講演会等では使用に耐えられない。

受けた影響:収入が減った(7)

団体として新たに取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
生産活動受注のための営業活動。消毒、換気など対策した上での実習の受入れ。	-
コロナ対応でも開催できる茶会を計画致しました。参加人数例年の 50%等。	-
ウェブの改善。	市ホームページでの紹介。
参加人員半減(感染対策のため)により、会費集まらず(何か月か休講としている)。	コロナが終息するまで待つしかないのが(助成金的なものが終息するまで支給されれば大変助かる)。
活動量が減り、収支に問題は生じていない。	-
地元のバザー中止で収入減。賛助会員を増やす。寄付のお願いをしている。	-
自粛中に自宅で楽しめるものを中心に新たな文具やグッズ等の仕入れ先を増やし、販売事業を拡充。ネットショップを作成。新たな会員制度の導入など、自立できる形にも力を入れ始めた。	そうした事業を行っていることの広報などにご協力頂けるととても助かります。(現在リーフレットなど整備中ですが、そうしたご案内の設置・配布など)サポート活動だけでなく、活動を支えるための資金が必要だという事も合わせて知って頂けるとありがたいです。

受けた影響:マスクや消毒液などの備品が不足している(2)

団体として新たに取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
支出増での購入。	現物支給。
マスクやアクリル板などの補助がほしい。	出来たら公的な設備で何点か安心して使える場所があった良いと思う。

受けた影響:活動再開のめどが立たない(1)

団体として新たに取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
館を閉めることなく部屋の利用条件を工夫しながら、地域の方に利用してもらえるようにしている。	-

受けた影響:その他(7)

団体として新たに取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
密の状況にならない様に屋外作業を心掛けている。	-
特にありません。コロナ禍の終息を願うばかりです。	早期の全希望者へのワクチン接種。
zoomでのオンライントーク。	-
スタッフの仕事量が増えたので、連携を取るため、ズームで介護を増やした。	PCR検査キットを無料で提供して頂きたい。自宅のできるほうが良いので。
コロナ感染予防の為、消耗品(消毒液、ウェットティッシュ)の出費増加。活動時間の短縮。体調の把握。参加者にコロナ感染予防の注意喚起。	コロナ禍においても引き続き、武蔵野市の公共施設を利用して活動を行っています。施設の貸出を今後も引き続きお願いいたします。
自主勉強会を対面式でなくオンラインにより開催する様変更。	-
検温の体温計が上手く作動しないので手間取っている。買い換えても上手くいかない。	検温が上手くいかないの、顔で認識できる検温器があれば助かります。

受けた影響:複数選択・無回答

団体として新たに取り組んでいること	行政に対して協力を求めたい事項
感染症対策に配慮した中での限定的な活動。	感染症対策を強化して、日常生活及び経済活動の早期回復、補助(シャッター内で酒の提供をしている店舗の取り締まりなど)。
スタッフに早くワクチンをして以前の様に活動したい。	-
対象が子どもであることから、コロナ禍では制限された。	-
70~80歳代の会員がほとんど。会員個々、組織としても、感染予防が最優先。活動停止を当然と考えた。	-

3. 情報・ICT等の活用について

問10 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。(〇はいくつでも)

「団体のホームページ」が47.7%で最も高く、次いで「団体のチラシや広報誌の配付」が46.8%、「メンバーなどによる口コミ」が42.2%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	市の広報紙	41	37.6
2	市民社会福祉協議会の広報紙	19	17.4
3	市のホームページ	9	8.3
4	武蔵野プレイスのチラシコーナー・掲示板	26	23.9
5	コミセンの掲示板・広報紙	30	27.5
6	自治体・他団体の行事への参加	12	11.0
7	主催行事（講座等）での広報	29	26.6
8	メンバーなどによる口コミ	46	42.2
9	団体のチラシや広報誌の配付	51	46.8
10	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等	10	9.2
11	団体のホームページ	52	47.7
12	団体のメール	19	17.4
13	団体のTwitter	17	15.6
14	団体のFacebook	24	22.0
15	団体のInstagram	13	11.9
16	団体のLINE	6	5.5
17	13～16以外のSNSを活用している	3	2.8
18	その他	11	10.1
19	特に発信していない	6	5.5
	不明・無回答	4	3.7
	N（%ベース）	109	100

問11 ICT等※の利用状況を教えてください。(〇は1つ)

※「ICT」とは情報通信技術のことで、本調査においては、インターネット、電子メール等の機能に加え、SNS等のオンラインを活用したコミュニケーションツール(Twitter、Instagram、Facebook、LINE、Skype、Zoom、Slack、note等)の総称として用いています。

「コロナ禍で利用の幅を広げた」が37.6%で最も高く、次いで「利用していない」が33%、「コロナ前から今と同様に利用している」が22.9%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	コロナ禍で利用の幅を広げた	41	37.6
2	コロナ前から今と同様に利用している	25	22.9
3	利用していない	36	33.0
	不明・無回答	7	6.4
	N（%ベース）	109	100

① **問11で「1」「2」を選んだ(ICT等を利用している)方にかがいます。**

ICT等をどのように活用していますか。(○はいくつでも)

「電子メールを活用している」が87.9%で最も高く、次いで「団体内の情報共有、連絡などに利用している」が78.8%、「インターネットを活用している」が77.3%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	インターネットを活用している	51	77.3
2	電子メールを活用している	58	87.9
3	団体活動の情報発信に活用している(問10のとおり)	46	69.7
4	団体内の情報共有、連絡などに利用している	52	78.8
5	グループビデオ通話等を活用して打ち合わせを行っている	32	48.5
6	グループビデオ通話等を活用して講座やイベントを開催している	28	42.4
7	その他	3	4.5
	不明・無回答	0	0.0
	N(%)	66	100

全ての団体にかがいます。

問12 ICT等の利活用に対して、感じている課題はありますか。(○はいくつでも)

「パソコンやスマートフォンを活用できるメンバーが少ない」、「個人情報保護やセキュリティ対策など、ICTを適切に取り扱う知識・能力に不足がある」が37.6%、「その他」が25.7%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	特に課題は感じていない	21	19.3
2	特に利活用の必要性は感じていない	13	11.9
3	パソコンやスマートフォンを所持しているメンバーが少ない	9	8.3
4	パソコンやスマートフォンを活用できるメンバーが少ない	41	37.6
5	どのサービスを活用すればいいかわからない	7	6.4
6	個人情報保護やセキュリティ対策など、ICTを適切に取り扱う知識・能力に不足がある	41	37.6
7	オンライン上でのミーティングやイベントの運営など、利用方法や注意点がわからない	23	21.1
8	その他	28	25.7
	不明・無回答	9	8.3
	N(%)	109	100

4.他団体との協働・連携状況について

問13 他団体との協働・連携状況についてうかがいます。(〇はいくつでも)

※問 13(①～⑥)における「武蔵野市」には、「武蔵野プレイス」を含みます。

「行政(武蔵野市、東京都、国など)」が 65.1%で最も高く、次いで「市民社会福祉協議会・ボランティアセンター」が 33.0%、「コミュニティセンター(コミュニティ協議会)」が 32.1%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	行政(武蔵野市、東京都、国など)	71	65.1
2	市民社会福祉協議会・ボランティアセンター	36	33.0
3	コミュニティセンター(コミュニティ協議会)	35	32.1
4	他のNPO法人・市民活動団体	30	27.5
5	学校・大学等の教育機関	28	25.7
6	民間企業	15	13.8
7	その他	14	12.8
8	いずれも協働・連携関係はない	8	7.3
	不明・無回答	7	6.4
	N(%ベース)	109	100

① 問 13 で「1 行政」を選んだ方にうかがいます。

具体的にどのような協働・連携の実績がありますか。以下の選択肢から、武蔵野市との協働・連携に当たるもの、その他の行政機関(他市、都、国など)との協働・連携に当たるものそれぞれに〇印をつけてください。(〇はいくつでも)

【武蔵野市】

「補助金・助成金の受給」が 60.6%で最も高く、次いで「行政からの受託事業の実施」が 43.7%、「情報交換」が 38.0%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	行政からの受託事業の実施	31	43.7
2	イベント等の共催	15	21.1
3	イベント等の後援の依頼	23	32.4
4	実行委員会・協議会への参加	24	33.8
5	事業協力	12	16.9
6	補助金・助成金の受給	43	60.6
7	企画立案への参加	5	7.0
8	情報交換	27	38.0
9	物品や機材、活動場所の提供	19	26.8
10	研究会等への参加・参画	10	14.1
11	人材の交流	5	7.0
12	その他	3	4.2
	不明・無回答	5	7.0
	N (%ベース)	71	100

【その他 行政機関】

「情報交換」が 16.9%で最も高く、次いで「イベント等の後援の依頼」、「補助金・助成金の受給」が 12.7%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	行政からの受託事業の実施	7	9.9
2	イベント等の共催	6	8.5
3	イベント等の後援の依頼	9	12.7
4	実行委員会・協議会への参加	5	7.0
5	事業協力	6	8.5
6	補助金・助成金の受給	9	12.7
7	企画立案への参加	0	0.0
8	情報交換	12	16.9
9	物品や機材、活動場所の提供	5	7.0
10	研究会等への参加・参画	7	9.9
11	人材の交流	4	5.6
12	その他	2	2.8
	不明・無回答	43	60.6
	N (%ベース)	71	100

② 問13で「1 行政」を選んだ方にうかがいます。

武蔵野市との協働・連携により事業を実施したことで、良かった点は何ですか。(〇はいくつでも)

「予算の負担軽減につながった」が39.4%で最も高く、次いで「効果的な広報・啓発を行うことができた」が38.0%、「事業目的・目標を共有できた」が31.0%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	活動領域の幅が広がった	16	22.5
2	専門知識や情報、ノウハウを取り入れることができた	15	21.1
3	予算の負担軽減につながった	28	39.4
4	効果的な広報・啓発を行うことができた	27	38.0
5	お互いの立場など相互理解を図ることができた	18	25.4
6	お互いに補完し合い、役割分担できた	10	14.1
7	事業目的・目標を共有できた	22	31.0
8	行政を介してさらに他の団体等との協働・連携の幅が広がった	10	14.1
9	その他	9	12.7
10	特にない	1	1.4
	不明・無回答	8	11.3
	N (%ベース)	71	100

③ 問 13 で「1 行政」を選んだ方にうかがいます。

武蔵野市との協働・連携により事業を実施したことで、課題に感じる点は何ですか。(〇はいくつでも)

「特にない」が 36.6%で最も高く、次いで「手続きや情報共有など、事務的な負担が増えた」が 35.2%、「活動に制約ができた」が 12.7%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	活動に制約ができた	9	12.7
2	手続きや情報共有など、事務的な負担が増えた	25	35.2
3	スタッフのスキルが足りなかった	4	5.6
4	お互いの立場を理解することができなかった	3	4.2
5	役割分担がうまくできなかった	0	0.0
6	事業目的・目標を共有できなかった	1	1.4
7	コミュニケーション（情報共有や対話等）が十分に取れなかった	7	9.9
8	その他	4	5.6
9	特にない	26	36.6
	不明・無回答	12	16.9
	N（%ベース）	71	100

全ての団体にうかがいます。

④ 貴団体では、今後、行政(武蔵野市)との協働・連携を深めたいと考えていますか。(〇は1つ)

「考えている」が 51.4%で最も高く、次いで「現時点では考えていない」が 22.9%、「今後考えてみたい」が 20.2%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	考えている	56	51.4
2	今後考えてみたい	22	20.2
3	現時点では考えていない	25	22.9
	不明・無回答	6	5.5
	N（%ベース）	109	100

⑤ ④で「1 考えている」、「2 今後考えてみたい」を選んだ方にうかがいます。

具体的にどのような協働・連携を望めますか。(〇はいくつでも)

「補助金・助成金の受給」が52.6%で最も高く、次いで「情報交換」が47.4%、「イベント等の共催」が46.2%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	行政からの受託事業の実施	27	34.6
2	イベント等の共催	36	46.2
3	イベント等の後援の依頼	31	39.7
4	実行委員会・協議会への参加	16	20.5
5	事業協力	27	34.6
6	補助金・助成金の受給	41	52.6
7	企画立案への参加	16	20.5
8	情報交換	37	47.4
9	物品や機材、活動場所の提供	27	34.6
10	研究会等への参加・参画	16	20.5
11	人材の交流	13	16.7
12	その他	3	3.8
	不明・無回答	2	2.6
	N (%ベース)	78	100

⑥ ④で「1 考えている」、「2 今後考えてみたい」を選んだ方にうかがいます。

行政(武蔵野市)との協働を進めるにあたり、行政(武蔵野市)の課題はありますか。また、その解決に向けて行政(武蔵野市)に求めたいことはなんですか。(3つまで記入)

※ご意見の内容に沿って項目立てをしています。いただいたご意見は明らかな誤字等を除き、そのまま掲載しています。

市側の理解の不足・協力姿勢の不足(13)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
複数の市域にまたがる活動をあまり想定していないように感じる。	コミセンを借りにくいので使用ルールを修正してほしい。
小さな草の根活動についての理解、協力姿勢が見られない応援。	「市の広報」に仲間づくりの掲載コーナーを設け、積極的に応援する。
事業協力。	企画立案の情報提供。
三鷹市、国分寺市、立川市等で普通に実施出来る「傾聴ボランティア」に対する理解がなさすぎる。	-
ボランティア活動に頼り過ぎている。	特殊技術を持った者への評価をしてほしい。
障害児・者への理解、共生社会の実現を目標に活動しているが、全体として障害者への理解が不十分。	一人の人(障害者)を知ればいろいろなことが見えてくる筈です。現場を知って欲しい。
地域を支えている活動への直接的なサポートがない。	補助金などの整備。情報交換の場、会合の設置。
こうした細かいアンケートや、企画なども実行委員制などで関わる側の負担がかなり大きく感じる事が多い。一度関わると、どんどん負担が増えていくような感覚があるので、その辺りは改善の余地があるのではと思う。	意見を取り入れるという事はありがたいが、それぞれの活動があるうえでの事が多いので、仕事として報酬を出して協働するか、実際に動くのは行政側で回していく形をとって頂かないと、関わる事を敬遠する団体はあるのではと思う。
小規模団体への協力に関心低。	大小規模団体に公平に接する。

知的財産権についての認識が少ないと思われる。	文科省、ジャスラック等に依頼して職員、市民の勉強会を開催してほしい。文科省は自治体からの依頼があれば、出向き説明してくれるそうです。
活動方法などに柔軟性に欠ける(特に ICT の活用)。	他地域に先行する ICT への取り組み強化。
武蔵野市に限定したことはないですが、「ボランティアこそ善」という風潮(特に子ども関係の事)。	必要な部分に適切な予算がさかれること。大切に長期継続して必要な事に関しては、ボランティアの活用をメインとして据えないこと。関わる人材が身を削る事業をしてはいけないと思う。
市民とチームをつくる一緒に進める気持ちのズレ。	市民と共に学ぶ組織マネジメントやリーダー養成講座など。

情報共有・指導・共同企画(8)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
地域ネットワーク化。	コミセン、テンミリオンによるアウトドア活動。
必要に応じてコミュニケーションを取り、情報交換及び我々の団体のスキルを上げていきたいと考えています。	-
高齢者施設やコミセンでの企画。	小規模イベント等への参加依頼。
なかなか難しいが、平和憲法問題での市民団体との共同企画の実施。	何が出来るか話し合いたい。
個人情報保護等、委託事業として守らねばならない事項についての指導。	研修会等の実施の他、個別の相談に乗ってもらえる専門家の紹介。
終活、防災、減災のネットワーク化。	事業計画への参画。
地域の団体、市民への情報提供と連携企画。	市民団体の交流。
事業の目的やねらいは分かっているが、具体的な提示がない(少ない)。	毎週2時間のプログラムを行うことは、マンネリ化しない工夫が必要。市からの情報が欲しい。

補助金・助成関係(5)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
NPO 補助金事業の協力体制の弱さ。	武蔵野市施設での告知協力。
過去50年間にわたり継続されてきた支援が昨年削減された。改めて、この重鎮達の集会の支援復活を望みます。	-
ICTへの助成。	各市民団体への zoom アカウントの付与もしくは貸出。
生涯学習に関する助成金(特に高齢者教育)。	左記事項が可能かどうか。
補助金取得手続きが煩雑。	簡素化

担当者の質・異動(4)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
担当者が変わるのが課題。	慣れてくると変わるので、その都度新しい関係を作らなくてはならなくて大変、又個性的な人に当たると大変。
市民活動は無償のボランティアが多く、すき間時間を工夫して活動しており、職員さんとの意識のズレがとても大きいと感じる。	職員のワークバランスを説明したうえで、市民との協働に前向きになってもらいたい。
担当者の異動、引継ぎ。	異動がある場合の早期連絡。引継ぎの強化。

担当者のスキルの格差。	担当部署の専門知識の習得。
-------------	---------------

人材の育成・確保(4)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
人手の確保。	企画、立案、実行の参加。
音訳者の養成。	養成講座の共催や後援を考えて欲しい。
市民参加が少ない。	委員会設置時に関係者が多いのでなるべく市民が参加する人数増加を望む。
子供たちへのアプローチ。	子供たちに情報が行くようにして欲しい。

縦割りであること(3)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
障害、子ども、高齢者等それぞれ担当している課が違う為、なかなか情報共有がしづらい。	各課をまたいだ研修や情報交換の場をもっと増やして頂けるといいと思います。
縦割り行政で課題毎に担当窓口が変わる。	総合的に相談を受け行政上の手配を一括で出来る窓口。
子ども対象の政策が進められているが障害児やその家族も含めた計画を考える(いろいろな分野で)。	「子育てフェスティバル」は良い活動なので楽しく続けて欲しい。そして教育委員会にも繋がる方向でお願いしたい。

後援・共催にあたっての懸念(3)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
毎回後援をして頂いているものの、特に「良かった」と思えるものは少ない。	会場とりが一番の難題。もっと借りやすい特典などがあると良い。
イベントなどの後援手続きに手間がかかる。	簡素化
以前、文化講演会の共催をお願いしたときの対応ですが、杓子定規的で警戒的過ぎるという印象を受けました。	文化講演会の共催に向けて、少し柔軟に許容的に対応していただくと有難いです。その方が市民文化の発展に繋がると思います。私たちの活動に対して、前・現市長ともに理解を示されました。市役所の現場でも同じ理解に立っていただけることを願います。

場所の確保(3)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
活動打ち合わせが出来るスペース確保。	道具や機材・書類の管理する場所が欲しい。
2か月前からの会場予約。	左記事項が可能かどうか。
活動場所の確保。	障害者福祉センターの建て替え時、建て替え後も資材置き場所と発送作業場所が確保されて欲しい。

距離が遠い(2)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
相談したいという気持ちになかなかならないくらい距離感を感じる。	どこまで可能かは分からないが、団体の活動内容を把握して貰いたい。
市の担当者と相談したいことがある場合、市役所は遠い。	委託事業としてサロンを行っているが、全員がボランティアである。市役所に行く交通費や相談の電話代が出るとよいと思う。

施設の設備(2)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項

wifi 環境の整備。	公共施設での wifi 設置とオンラインイベントができるハード面の設置。
(協働とは関係ありませんが) スイングホール(10階、11階)の音声・録音・空調関係の設備、市民会館のオーディオ関係設備に改善の余地ありか。	-

コミュニティセンターの管理(2)

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
コミセンの管理運営に対する、職員の不足。	コミセンの管理運営に対する、行政からの人材補填、嘱託職員の派遣。
コミセンの管理運営に於けるスタッフの高齢化。	コミセン運営委員募集に関する、積極的関与、市報等による勧誘告知。

その他

行政(武蔵野市)の課題	行政(武蔵野市)に対して求めたい事項
広報活動。	市報掲載、締切時期が早すぎる。
良い文化団体を文化的事業として市の芸文あたりに入れたいと思っている。	そのような良いものがあつたらどのように取り込んでいくかを皆様に知らせることも出来る発信を欲しい。
-	会員の高齢化に伴い、人的要請への負担が重くなっている。
-	講演会の講師依頼。
-	広報や場所の提供。

⑦ **問13で「2」～「7」を選んだ方(行政以外の他団体と協働・連携あり)にうかがいます。**

具体的にどのような協働・連携を行われましたか。(〇はいくつでも)

「日常的な情報交換の機会を持った」が31.3%で最も高く、次いで「2団体以上が協力して単発的なイベントを実施した」、「2団体以上が協力して継続的な事業を実施した」が23.8%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日常的な情報交換の機会を持った	25	31.3
2	2団体以上が協力して単発的なイベントを実施した	19	23.8
3	2団体以上が協力して継続的な事業を実施した	19	23.8
4	2団体以上で事業実施等のための協議会などの組織を設立した	6	7.5
5	その他	13	16.3
	不明・無回答	26	32.5
	N (%ベース)	80	100

全ての団体にうかがいます。

⑧ **貴団体では今後、市内で活動する市民活動団体との協働・連携を深めたいと考えていますか。**
(〇は1つ)

「現時点では考えていない」が41.3%で最も高く、次いで「考えている」が28.4%、「今後考えてみたい」が22.9%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	考えている	31	28.4
2	今後考えてみたい	25	22.9
3	現時点では考えていない	45	41.3
	不明・無回答	8	7.3
	N (%ベース)	109	100

⑨ ⑧で「1 考えている」、「2 今後考えてみたい」を選んだ方にうかがいます。

実際にどのような協働・連携を行いたいですか。できるだけ具体的に記述してください。

※ご意見の内容に沿って項目立てをしています。いただいたご意見は明らかな誤字等を除き、そのまま掲載しています。

共催事業の実施(12)

共催事業の実施。
地域のコミュニティセンターや地域社協などの従来の組織とは異なる「草の根活動」を応援する集いを希望。「お助け隊」を立ち上げた時、武蔵野市はとても排他的と感じた。
イベントなどへの共同での参加。
他の市民活動団体との協働、連携することで、更に広く深く活動できることを願っている(子ども達の環境学習をより楽しく魅力あるものにしたい)。
年 3 回の定期公演以外に、地域の小規模な活動に協力したい。具体的には出前落語会を可能な限り増やすことで、地域に貢献したい。
市民の政治参画の強化(選挙権の行使)を通じて市民意識を強化へ貢献。
同じ目的に向かって(SDGsの推進や男女平等社会)一緒に学び、発信し、行動したい。子育て×介護×ジェンダー平等の連携事業と広報協力。気候変動×フェアトレード×まちづくり×環境の連携推進。SDGsとフェアトレードタウン共同声明。
精神障害のこともっと知ってもらおう目的で、イベント、お祭りへの参加や、地域にあるボランティア等に参加していきたいなど思っています。
地域の方々がよりお互いの活動を広められ、知ってもらえる事業が企画できれば良いと思う。地域に密着した団体とは、考え方を共有して効率的な活動を推進したい。
更生保護事業としての活動が今までは主になるが、こらからは福祉関連の事業に対しても活動の 1 つに加えて行ければと考えている。
防災や福祉の団体と協働により、地域に役立つ企画を実施したい。
地域の親子のためのイベントの企画、収益事業の連携など。

交流会・情報交換(9)

他世代交流。特に中学生など。
地域の諸団体と協議の場をもちたい。
1.音楽を用いての多世代交流事業。今の高齢者の問題は、地域社会との繋がりが薄く、様々な人間関係から「自由」である反面、別の見方をすれば、そうした人間関係から「切り離されて」いるようにも見える。一方、子供たちは超核家族の中で育ち生活しているため高齢者と接する機会が大変少ない。そんな世代が音楽を媒体として楽しく交流できる事業を提案したい。子供にはリトミックという音感教育をします(30 分程度、子供の親にも喜ばれます)それを高齢者が見守ります。そして子供たちが引き上げた後、高齢者の好きな歌をピアノに合わせて歌ったり、口腔予防体操などを行い、健康増進もでき、心の安定にもつながる多世代交流事業ができると武蔵野市独自の取り組みになると思います。2.武蔵野市ゆかりの音楽家を学校教育に活かしたい。学校教育で地域を知ることが大切だと思います。3.福祉型住宅での音楽療法の開催。以前、担当していました。住人の方達の連携が密になってきた経験があります。
情報交換
障害児と家族への理解を深められるように機会を多く持ちたい。交流会・情報交換会など。
講演会、勉強会、情報交換等。
外国人、障害者との交流。
活動団体と定期的に話し合いの場を持ち、地域の問題等掘り起こし、地域全体を盛り上げ活性化し、人とのつながりを広げ有事の際も共助できる関係を構築すること。
相互理解のための交流会、情報交換会の実施。

活動の拡大・相互連携(5)

ボランティアのシェア。事業のシナジー。
若い方の参加が欲しい。
事業の運営継続の為、特に資金面、運営人材面に対して協働・連携を行いたいと、今後考えてみたいです。
各団体の特性を活かした活動の幅を広げるための連携。
コミセン事業のお手伝いを今年度より実施。

資金・場所の支援(4)

場所と資金の提供。制約はあるが地域で活動している団体に提供、応援したい。
場所、会場提供。
他団体への活動場所提供により、地域づくりに有効な事業の連携を行いたい。
事業の運営継続の為、特に資金面、運営人材面に対して協働・連携を行いたいと、今後考えてみたいです。

地域に根付いた事業の展開(3)

終活、防災、減災への地域組織化。
地域での共通の事業については連携を深めたい(防災事業、地域住民が集まるイベント等)。
緑町には各町内会、団体を集めた懇話会があり、2か月に1回会議を行い、活性化と協力をしている。

その他

機会があれば考えたい。
むさしの市民平和月間などの事業の継続。

5. 武蔵野プレイスについて

問14 武蔵野プレイスにおける市民活動フロア設備、市民活動支援の企画について、貴団体の【1】使用した項目と【2】現在の満足度、【3】市全体としての今後の重要度をお答えください。

【1】使用したことがある（○はいくつでも）

「ワークラウンジの利用」が 33.9%で最も高く、次いで「プリント工房」が 26.6%、「チラシ・ポスターなど広報物の設置」が 25.7%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ワークラウンジの利用	37	33.9
2	プリント工房	29	26.6
3	チラシ・ポスターなど広報物の設置	28	25.7
4	情報ステーションへの投稿	9	8.3
5	市民活動フロアだより・団体イベント情報への投稿	12	11.0
6	ロッカー・メールボックスの使用	16	14.7
7	市民活動支援機能主催の講座・イベントへの参加	12	11.0
	不明・無回答	67	61.5
	N（%ベース）	109	100

【2】現在の満足度（それぞれ○は1つ）

項目	満足	ある程度満足	どちらでもない	あまり満足していない	不満足	不明・無回答
ワークラウンジの利用	20.2	22.9	6.4	2.8	0.9	46.8
プリント工房	14.7	22.0	9.2	0.9	1.8	51.4
チラシ・ポスターなど広報物の設置	11.0	18.3	11.9	2.8	0.9	55.0
情報ステーションへの投稿	4.6	5.5	15.6	3.7	1.8	68.8
市民活動フロアだより・団体イベント情報への投稿	4.6	8.3	16.5	2.8	0.9	67.0
ロッカー・メールボックスの使用	11.0	10.1	11.9	0.9	0.9	65.1
市民活動支援機能主催の講座・イベントへの参加	4.6	11.9	12.8	3.7	0.9	66.1

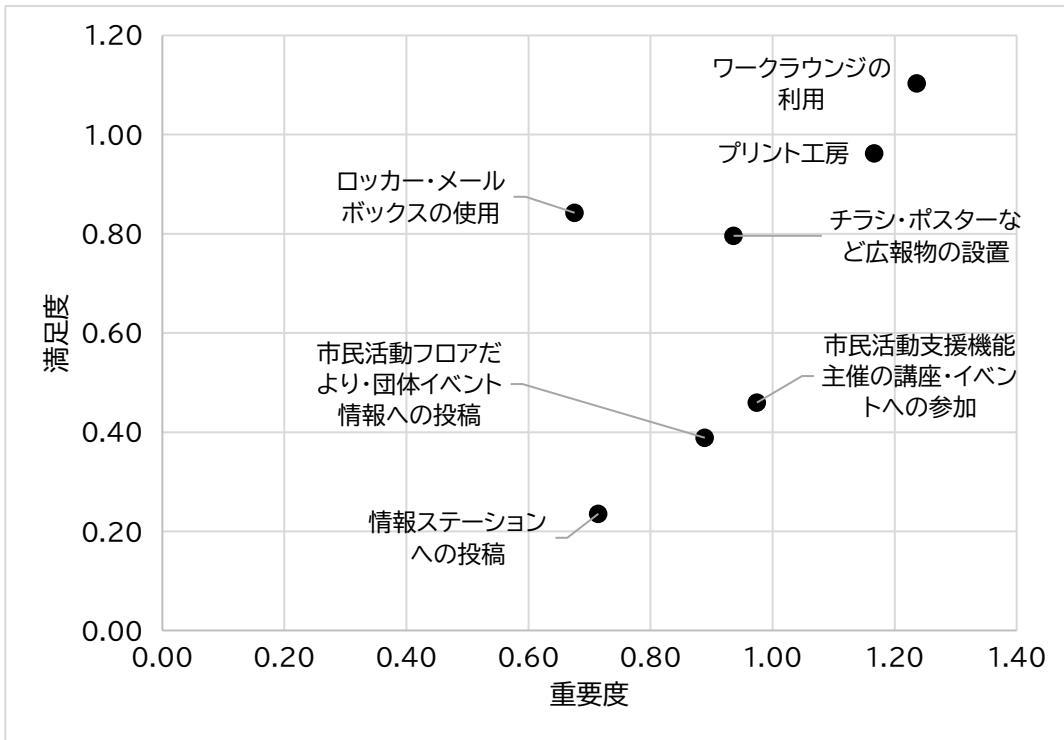
N = 109

【3】今後の重要度（それぞれ○は1つ）

項目	重要	ある程度重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	不明・無回答
ワークラウンジの利用	27.5	12.8	6.4	1.8	1.8	49.5
プリント工房	22.0	11.0	8.3	1.8	0.9	56.0
チラシ・ポスターなど広報物の設置	18.3	9.2	11.0	3.7	0.9	56.9
情報ステーションへの投稿	9.2	7.3	12.8	2.8	0.0	67.9
市民活動フロアだより・団体イベント情報への投稿	11.9	8.3	10.1	2.8	0.0	67.0
ロッカー・メールボックスの使用	11.9	6.4	10.1	3.7	1.8	66.1
市民活動支援機能主催の講座・イベントへの参加	14.7	9.2	9.2	1.8	0.9	64.2

N = 109

満足度と重要度



※以下の通り回答に応じて点数化しました。

満足	2点
ある程度満足	1点
どちらでもない	0点
あまり満足していない	-1点
不満足	-2点

重要	2点
ある程度重要	1点
どちらでもない	0点
あまり重要でない	-1点
重要でない	-2点

問15 武蔵野プレイス市民活動フロアについてお気づきの点はありますか。(自由記述)

※ご意見の内容に沿って項目立てをしています。いただいたご意見は明らかな誤字等を除き、そのまま掲載しています。

プレイスの機能(6)

毎週水曜日定休ですが、交代勤務で定休なしは無理でしょうか。登録団体の当番制も検討されても。
コミュニティセンターの機能と重複するところが多く、利用していない。
団体としての、つながりを感じない。使用したことがない。
プレイスが武蔵野市における市民活動の拠点的な役割があること自体が知られていないのではと思う。武蔵野市に移転してきた当初は利用したが、吉祥寺に事務所があったこともあり手間はかかるけれど殆ど意味があったように感じず、図書館の上階という利点もほぼ関係なく、もったいない場所という認識になった。市の管轄等の課題は行政側の課題として、市民としてはせっかくのプレイスなので、もっと一つの施設として連携し、動線が繋がるような形にして欲しい。
フロアの掲示やラウンジに楽しさやワクワク感、にぎわいが足りない気がする。窓口スタッフとの距離感もある。モニターや大画面での情報発信や共有もあれば良いなど。飲食スペースの情報掲示は利用しづらいので、ラウンジに移動してほしい。
あの場所で広報物がどれだけの人の目に触れているのか、広報の意味を持っているのかが分からない。

市民活動への寄与(3)

市民活動を育てていくような気持ちで取り組んで頂けると有難く思います。よろしくお願い致します。
コロナ禍でも即、閉鎖してしまった公共施設とは異なり、何かと市民サービス継続を検討し、実施している事に感謝。
会議室を月1回お借りしています(コロナで現在はありませんが)。スタッフの方達も親切で、室も清潔でとても安心感があります。

立地・交通アクセス(3)

プレイスは素晴らしいと思いますが、吉祥寺住人としては利用しにくいです。
緑町から遠く、コミュニティバスでも行けないので、行った事ない人が多い。
活動の中心が吉祥寺なので物理的に利用しにくい。交通費、時間がかかる。印刷で利用したいが上記の理由で利用しづらい。

スタッフの対応(4)

時々スタッフ(一部の方)が、否定的というか少し不快な態度をとられる。こちらが間違っていた・知らないこと等ありますが、もう少し理解、歩み寄ってほしいです。
NPO に対する職員知識不足のため相談ができない。
開設当初、受付が分かりにくく、排他的な態度だったので、それ以来利用は考えてない(活動場所からも離れている)。プレイスの近くには福祉サービス事業所があり、利用者(障害者)も街の人である。アート展以外の時も活動の中に障害者が入れるように計画して欲しい。
受付スタッフの私語が多く、静かな空間での勉強の邪魔になる時がある。

コロナ禍での利用制限(3)

大いに役立っています。コロナ禍、使用人数4人までとなっているが、テーブルを2つ連ねて、6~7人まで可能となると良い。
コロナ禍の為、市民活動フロアに対して人数制限(4人以内)があり、不自由した。
コロナ禍で一番困ったのはプリント工房が使えなかったことかもしれません。

設備・使用料(3)

会議室のスペースA～Eを利用しています。市民会館の利用は、半額になりますが、武蔵野プレイスはこの適用がありません。検討をお願いします。
3階以上の空スペースの有効活用を希望。武蔵野市での音楽教室の予約(使用)が困難(教室が少ない)なのと和室(幼児やコミュニティの場)としての給湯を備えた場があれば良いとの声が多くあります。市民のプレイスなので音楽(歌える)室が希望。
利用の方法がよくわからない。印刷が高い。

その他

使いやすいです。
市民活動の広報などを積極的に行われている。
プレイスを使用していないが、不満はない。
使用したことはありませんので。
利用したことがないので分かりません。
今はアイデアはないが、今後そういう目でみていきたい。
使用する機会がない。
あまり規則に縛らない、ゆるやかに。
協議会として、プレイスを使用した事がなく、特にない。

6.市の施策や今後の取り組みについて

問16 団体として、活動に対する相談等を通じて求めたいアドバイスや、受けたい講座はありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」が 26.6%で最も高く、次いで「人材育成や組織の運営に関すること」が 22.0%、「SNS活用・ホームページ作成など情報発信に関すること」が 19.3%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	団体の会計・税務に関すること	10	9.2
2	スタッフの保険・労務に関すること	7	6.4
3	人材育成や組織の運営に関すること	24	22.0
4	寄付金や助成金など資金確保に関すること	20	18.3
5	パソコン操作に関すること	7	6.4
6	S N S 活用・ホームページ作成など情報発信に関する こと	21	19.3
7	活動場所の確保や施設の活用に関すること	20	18.3
8	地域や社会の問題解決などソーシャルビジネスに関する こと	12	11.0
9	武蔵野市の文化・歴史、地域特性に関すること	9	8.3
10	補助金・助成金などの企画書・申請書の書き方に関する こと	9	8.3
11	その他	5	4.6
12	特にない	29	26.6
	不明・無回答	16	14.7
	N (%ベース)	109	100

問17 他の設問で回答した内容のほかに、貴団体が活動する上で武蔵野市に求めたい支援はありますか。

(自由記述)

※ご意見の内容に沿って項目立てをしています。いただいたご意見は明らかな誤字等を除き、そのまま掲載しています。

広報、活動の紹介(6)

市との関係団体からとの連携を重視され、フリーな小さな市民活動は黙視されている感有り。市の広報は毎回同じ関係状況にて新しい広報的な活動の取り上げがない。
当協議会のPR(存在、特に市内転入者へのPR)。
本会の活動をコミセン、地域団体に広報して頂きたい。
web サイトでわかりやすく活動を紹介できること。
心身の悩み等をお聴きするという会の性質上、他団体との協働などはありませんが、会の認知度を高めたいこと、活動資金を増やしたいという希望があります。そのための会員募集時の広報にご協力頂きたく、よろしく願い致します。
金銭に関する書類以外の押印の簡素化。広報を利用したいが締切が早すぎて活用しづらい。

活動場所の確保・利用支援(5)

技術、知識的なサポートは民間でもやっているの、行政で何でも行わなくても良いと思います。行政施設の優遇とか、行政にしかやれない支援策に絞って行うので十分だと思います。
当会では、幅広い世代に利用して貰える「居場所」を作りたいとの課題を抱えています。これは専用の部屋が欲しいとの市への要望と同じ課題でもあります。諸部署の支援を是非お願いしたいと思っております。
吉祥寺エリアでの施設(武蔵野公会堂)の利便性向上。
私どもの団体は知的障害者及び身体障害者の当事者です。運営しているのはその当事者の親です。当事者の親が団体を運営し続けていくことは大変に厳しいです。当事者が生まれ育った地域で暮らし続けて行く為に具体的な支援をお願いいたします。
活用できる一軒家があれば是非教えて頂きたいです。現在の場所も良い環境ではあるのですが、耐震的に心配もあり、徐々に関わる方も増えているのでもう少しだけ大きい場所があればと思っています(一番は耐震ですが)。可能であれば、家賃の負担が大きいので、補助金などを頂けるととても助かります。昨年度末の地域応援券はとても助かりました。子ども応援券などは手数料の負担が大きく加入できないので、店舗に負担のない形にして頂けると、多くの親子にとって大きな支援ができると思います(絵本は多く利用され、とても喜ばれました！)。

市の対応への要望(5)

市主催で音楽団体の発表の場所を作って欲しいです。
市民活動をするに際し、武蔵野市民であることを条件となるのを止めて欲しい。市民活動をしている団体が武蔵野にある場合には市民と同じ対応をして欲しい。
「支援」ではありませんが、市民全体の「意識調査」をして欲しい。もともと武蔵野市民のボランティア意識は低い。ボランティアセンターの活動も自分たちが楽しむためのものが多い。障害児者を仲間に入れる活動が欲しい。地域活動も一部の人がたくさんのことを担っていて、広がらない。そのような状況をさぐり出して、活動の前提となるような市民意識を分かりやすく示して欲しい。
今まで支えて活動してきた人も高齢化。若い方は殆ど仕事で日中いません。新しい、たとえ素晴らしい施策でも、地域に任せるものが乱立しています。どこも同じ顔ぶれで支えています。増やさないで、広げないで、お願いしたい。前向きに取り組めなくなります。
学区やコミュニティ区、地域団体の活動地域の不一致があり、活動しにくい場合がある。

プレイス・コミュニティセンター・ボランティアセンター(4)

現在のプレイスは市民の声や希望のアンケート用紙などは記入しても、殆ど取り上げていないとの不満の声を聞いたことがある(年配の男の館長だから)。女性の育児や学生や若者の声や現状が伝わらない。建物は立派で県外からの取材もあるが、利用者からは不満も有り。スタッフの人達はとても好感で評判が良いので。
武蔵野市の東側に位置する人にとって、武蔵野プレイスの場所は遠い。充実した施設であるのに、武蔵野の市民より他地域の人々に利用されているのでは。

ボランティアセンター様には大変お世話になっています。これ以上望むことはありません。
1.コミセンの管理運営にあたり、ボランティアによる”指定管理者制度”の限界を痛感する。コミセンにかかわるスタッフのボランティアに対する考え方の変化が顕著。若い担い手の確保には、それなりの報酬が必要ではないかと思う。周辺他市のコミュニティセンターでの”嘱託職員”の配置がある現状を考慮されたい。コミセン管理役員のなり手が不足する。仕事量・責任負担に対する金銭対価が必要ではないかと思う。2.ICTの流れに対応できないコミセンスタッフの教育・指導。コミュニケーション機能の最新化。上記に対する使い方指導。担当者交代に伴う技術の継承断絶、専任指導員の配置。

活動上のアドバイス・相談(3)

音楽著作権に関する支援(包括的著作権支払い等)をお願いしたい。武蔵野市の音楽活動はほとんどが著作権法に抵触しています。高齢者施設、いきいきサロン等。
SNS の活用は拡大していく事が確実だと思うが、メンバーが高齢化していて技術的に対応できずにいる。
私達の活動は、子ども対象なので、現在は主に小学校(課外あそべえ館)。保護者、地域へのアプローチが(子ども止まりで)あまり出来ていない。学外でのアプローチ、認知、広報の方法など難しい点が多い。小学校(校長、教諭)の理解と協力が求められる。学校外で子どもを集めての活動は、難しい部分が多々あり、アドバイスを望む。

人材確保(3)

委託をして頂いても申し訳ないが、コロナ禍で活動場所に色々な制約も出ている事、指導に当たって下さる方々の高齢化など、保護者が運営していくことに限界を感じています。
若い世代との交流がなくサロンを継続していくための人材が確保できない。毎週 2 時間、準備、片付けも合わせると 3 時間近い時間を手伝える 50 代・60 代の人材との交流の場があるとよい。近隣には殆ど見当たらない。新しいマンションの住人との接触はない。
40 代～50 代の人材が入って来て欲しい。

助成金(3)

NPO への支援といっても、対象や受益者が武蔵野市であることが条件、優先されるので私達みたいに日本全域が対象の場合には支援頂けない。難しい。NPO もいろいろな特性をもっていることを行政は対応できてない。受益者が”武蔵野”を支援するだけであるのならば、このアンケートは私達には不要(答える立場にいないのにね)。
絶対的に感じている市や市政との距離感をどうやって縮めたいのかと考えます。また、一般的に、目的が非常にピンポイントのもの(例えば、〇〇の森と守る、〇〇の人をサポートする)に対する助成は多いが、人としての大切な土台(例えば〇〇の森を守る必要があると気づく土台)を作るための教育となると、範囲が広すぎるのか、助成する行政、団体がほとんどないと感じています。是非武蔵野市には基本となる人間教育の重要性を理解していただきたいと願います。
助成金や補助金は都の自殺対策事業に参加中のため頂けないことになっていますので、残念に思っております。

ネットワークの構築(2)

自治会、町内会、区社協、コミセン、テンミリオンなどは関係者のみのインドア活動のため、市民も協働への取り組みにも努めたい。関係事業計画への参画を通じ、ネットワーク化したい。市内在住の有識者などの活用をもっとされてはいかがでしょうか。他市在住の有識者では地域密着とはいえず、寂しい限りです。
小学校の英語授業にネイティブの外国人を採用していると思います。彼らの協力があれば、私達のインストラクターとして協力が得られると思いました。是非とも紹介を頂けると有難いです。市内の大学の契約講師でもOKです。

若い世代の支援(2)

市民活動のとらえ方が 30 年前と現代では相当ズレがでてきているのではないかと。市民活動団体支援は主に従来の高齢化した組織か法人格のある NPO が主体であり、これからの暮らし方に不安や疑問を持ちながら活動している高校生、大学生、子育て世代、社会人グループへの情報提供や支援が追い付いていない気がする。後者にコミットするためには SNS や IT の活用が急務であり、そちらに働きかけるような対策を求める。そのためにはキーマンとオンラインの MTG や情報交換できる場をまずは作るようにしてはどうでしょうか。
平和・憲法手帳の配布について評価したい。若者が平和活動に参加することや市民活動を企画・実施できるようになるよう働き掛けと育成に力を入れて頂きたい。

手当(2)

コミセンの窓口担当の手当の改善をお願いしたい。防災責任者への手当を検討頂きたい。
窓口手当の増額(運営委員の募集をしても人が集まらない)。

その他

公共交通機関での市役所へのアクセスが不便。吉祥寺からのバス便が圧倒的に少ない。市政センターでの受付業務の幅を広げて欲しい。
30年以上に渡って大正琴の指導に携わってきましたが、会員の減少、高齢化により会の存続も危ぶまれます。芸文協”絃のしらべ”での演奏会を楽しみに練習を重ねています。これからも従来通りに活動を続けられる様をお願いします。
特になし。総会等、ご相談したい時、出席をお願いしたい時はきちんと応じて頂いています。
障害者福祉課の方々がよく対応してくださっています。
支援となるかどうか分からないが、13年間寄席をつないでくれた落語会は武蔵野らしさを多分に含んだ団体であった。こんな演者たちのいる会を地域のもの、武蔵野市の文化的活動団体として是非未来に残したい。座長は変わってもつながっているところが継続する要素を含んでいるので。芸文あたりに名を連ねたら、安くてうまい落語を市民に与えることが出来ると思う。
経済活動の活性化、まちづくりの推進についての更なる支援。
行政のこのような熱意のあるアンケートに敬意を表します。ワクチンが進めば何とか盛り上げたいと思っています。首都圏大地震がくればコロナ禍の比ではありません。共助を中心とした行政の具体案(病院、避難所、インフラ…)に注目しています(スペイン、バルセロナに注目)。

問18 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。【1】満足度がわからない場合でも、【2】今後の重要度については可能な限りご回答ください。(①～⑫の【1】【2】それぞれ○は1つ)

【1】現在の満足度（それぞれ○は1つ）

項目	満足	ある程度満足	どちらでもない	あまり満足していない	不満足	不明・無回答
①市民活動のきっかけづくり	2.8	19.3	35.8	15.6	1.8	24.8
②多様な活動につながる情報の提供	4.6	12.8	38.5	11.0	3.7	29.4
③情報提供の充実	4.6	21.1	33.9	10.1	0.9	29.4
④相談体制の充実	3.7	11.0	40.4	11.0	2.8	31.2
⑤財政的な支援	2.8	22.0	30.3	9.2	5.5	30.3
⑥市民活動に関する学びの機会の提供	3.7	15.6	41.3	5.5	0.9	33.0
⑦交流の促進	3.7	12.8	48.6	4.6	0.0	30.3
⑧コーディネート機能の強化	0.9	9.2	46.8	8.3	1.8	33.0
⑨武蔵野プレイスの有効活用	9.2	22.0	33.9	2.8	3.7	28.4
⑩多様な活動の場の情報提供	3.7	23.9	33.9	6.4	1.8	30.3
⑪連携と協働に向けたネットワークの構築	0.9	9.2	46.8	8.3	2.8	32.1
⑫協働に向けた体制の整備	0.9	11.0	40.4	12.8	2.8	32.1

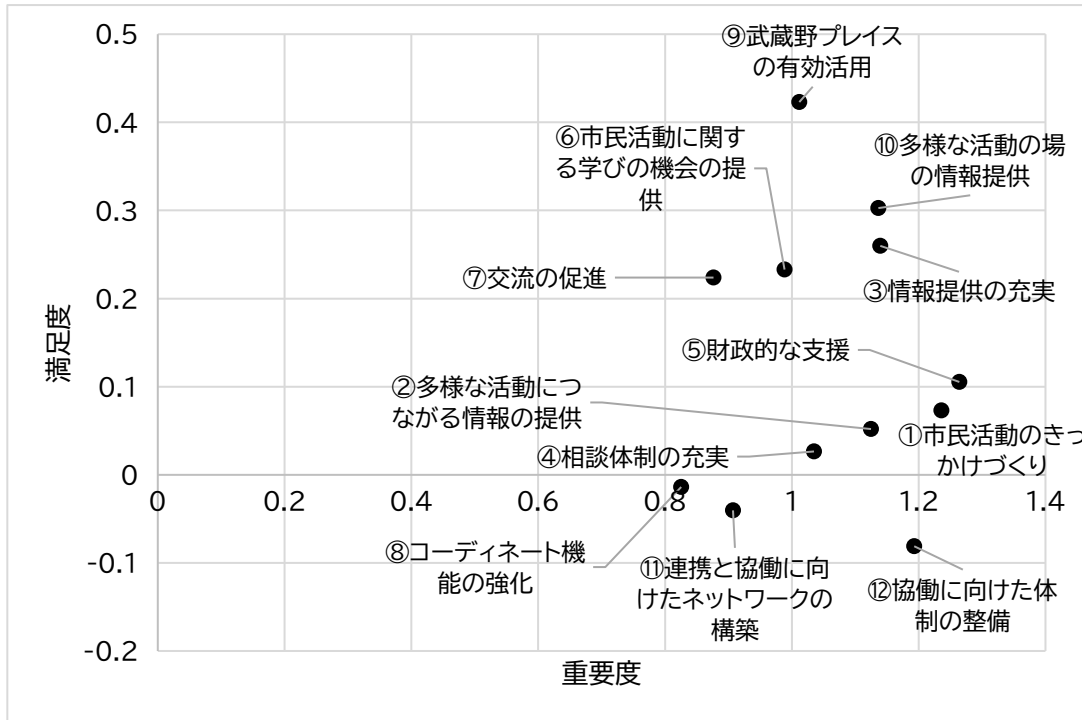
N = 109

【2】今後の重要度（それぞれ○は1つ）

項目	重要	ある程度重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	不明・無回答
①市民活動のきっかけづくり	33.9	34.9	11.0	1.8	0.0	18.3
②多様な活動につながる情報の提供	33.0	28.4	16.5	1.8	0.9	19.3
③情報提供の充実	33.0	27.5	15.6	1.8	0.9	21.1
④相談体制の充実	27.5	30.3	17.4	3.7	0.0	21.1
⑤財政的な支援	40.4	23.9	12.8	1.8	0.9	20.2
⑥市民活動に関する学びの機会の提供	22.0	38.5	16.5	1.8	0.9	20.2
⑦交流の促進	22.0	33.0	22.0	3.7	0.9	18.3
⑧コーディネート機能の強化	19.3	30.3	25.7	3.7	0.0	21.1
⑨武蔵野プレイスの有効活用	24.8	32.1	22.0	0.9	0.0	20.2
⑩多様な活動の場の情報提供	27.5	37.6	14.7	0.9	0.0	19.3
⑪連携と協働に向けたネットワークの構築	21.1	32.1	22.9	2.8	0.0	21.1
⑫協働に向けた体制の整備	33.0	32.1	13.8	1.8	0.0	19.3

N = 109

満足度と重要度



※以下の通り回答に応じて点数化しました。

満足	2点
ある程度満足	1点
どちらでもない	0点
あまり満足していない	-1点
不満足	-2点

重要	2点
ある程度重要	1点
どちらでもない	0点
あまり重要でない	-1点
重要でない	-2点